

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト大健闘！

11月30日(土)東京工業大学目黒キャンパスにおいて、第10回全国少年少女チャレンジ創造コンテストが開催されました。本校からは6年生(代表：高久賢也君・塩澤董君・清野翔君)が参加しました。6月から設計・製作・操縦・プレゼンの練習と夏休みも返上で、時間を見つけては取り組んできた活動です。テーマは「よみがえったカイギュウ！」、タカサトカイギュウをモチーフにいろいろな仕組みを考え楽しいパフォーマンスができるように進めてきました。途中、せっかく作ったものが壊れてしまったり、動力車が思うように進まなかったりと苦難の連続でしたが、大会前々日に、やっと安定したパフォーマンスができるようになり当日を迎えました。学校を出発する時には、全校生に見送られ、子ども達は「みんなが応援してくれたんだから頑張らないとね！」と話していました。

大会当日は、全国約600チームから選ばれた60チームによる大会でした。思うように進まず時間オーバーのチームが続出する中、高郷小学校チームは、無事時間内に全てのパフォーマンスを行うことができました。残念ながら、決勝に進むことはできませんでしたが、子ども達はベストを尽くして競技してくれました。そして、他県の作品やプレゼンの様子を見て大きな刺激を受けていました。子どもの時代に、広い世界に目を向け様々な体験をすることは、将来きっと良い影響となると考えています。その意味でも、6年生にとって今回の大会参加は大きな意味のある体験でした。今回の体験を今後の学校生活に生かして行ってほしいです。

ここまで、この大会参加への意義を理解し子ども達の活動を支えてくださった保護者の皆様と、製作に協力くださった東北リズムの皆様にご心から感謝申し上げます。



大会参加者全員で記念撮影



競技前の車体調整



競技に臨んだ子ども達



東京工業大学校舎をバックに

「家読」の取り組みをお願いします

今月から全校生で、週末「家読」に取り組むことにしました。高郷小学校の子ども達の課題の一つが家庭での読書です。そして、全国学力テストの結果から、本を読んでいる子どもとあまり読まない子では正答率に大きな差が見られることが分かっています。また、以前にもお知らせしましたが、これからの子ども達に求められる力は読解力です。**AI(人工知能)**に多くの仕事が取って代わられると言われる現代読解力を身につけることがとても大切です。子ども達のためにご協力ください。取り組み方については別プリントでお知らせします。



